

付け祭とは？

江戸時代の神田祭で最も人気があった行列・付け祭。現代に復興しても人気は変わらない！

江戸時代の神田祭には、各町より華麗な山車が36番組45本前後も出され多くの人々をひきつけた。しかしそれを凌ぐほどの人気があったのは「付け祭」といわれた出し物であった。付け祭とは、曳き物と呼ばれた巨大なはりぼての人形や様々な衣装を身にまとい流行の音楽を奏でながら行列に参加した踊り子などのことをいい、毎回違う出し物が出されたため多くの見物人を楽しませた。

現代の神田祭でも、様々な付け祭を出し話題を呼んでいる。いつの時代も流行を先取りした付け祭は人気である。



昔話を題材にした仮装行列 花咲か爺さん

「ここ掘れワンワン」の台詞で有名な昔話の一つで、江戸時代の神田祭の絵巻物にも描かれている。



明神賞受賞で登場 獺

令和6年の東京藝術大学「藝祭」御興パレードで明神賞を受賞した学生たちによる曳き物。サンパチームとともに練り歩く。



多彩な曲芸は注目すべき 太神楽

江戸幕府が費用を負担して出された御雇祭として天下祭のみに許された太神楽を現代に甦らせ披露。



今昔問わず人気の物語 浦島太郎

江戸時代の神田祭で出された浦島太郎を、平成27年にアニメ調のデザインで復活。昔ながらの浦島太郎の歌とともに練り歩く。



美しい和髪と着物姿の行列 自分結い大江戸和髪学会

自分で結う和髪と着物と盆踊りを通じて、日本の伝統文化を未来にそして世界に繋げるべく日々活動。きらびやかな着物を身にまとい練り歩く。



文京建築会ユースと 銭湯山車巡行部のコラボ山車 銭湯山車

都内の銭湯から引き取った物品を再構成した「山車」。カランから出る湯水でまちを清める。



付け祭 参加団体

【全巡行路参加】

- 太神楽
- 【中央区有馬小学校より参加】
- 相馬野馬追騎馬武者行列
- 花咲か爺さん曳き物と練物
- 浦島太郎曳き物
- だいこく様・えびす様・少彦名命曳き物
- 神田一橋中学校生徒(有志)
- 有馬小学校生徒(有志)
- BKY+ 銭湯山車巡行部
- 自分結い大江戸和髪学会
- 至善館

【小網町児童遊園より参加】

- 坂東武者行列

【秋葉原より参加】

- 東京藝術大学「獺」曳き物
- 東京藝術大学サンパチーム
- ボーイスカウト千代田第六団
- 万世橋交通少年団
- 神田消防少年団



少彦名命御奉祀150年記念に作られた だいこく様・えびす様・少彦名命曳き物

令和5年に神田明神二の宮の御祭神・少彦名命が祀られて150年を迎えたことを記念して作られた、だいこく様・えびす様・少彦名命の曳き物。

平成6年以来的出陣 坂東武者行列

平安時代に関東を制した「平将門公」。その将門公を御祭神として祀る神田明神と、将門公終焉の地・茨城県坂東市は、長きにわたり交流が続いており、将門公率いる坂東武者の行列がこの神田祭に平成6年以来的出陣。甲冑に身を固めた勇壮な武者たちが、神田の街中を練り歩く。



※写真は坂東市で毎年11月に開催される「将門まつり」の様子

付け祭

つけまつり

5月10日(土) 15時

趣向を凝らした
ユニークな行列は
江戸時代から大人気！

江戸時代に行われていた神田祭で、最も人気があった付け祭。当時流行した能や浄瑠璃などを題材に取り入れ、踊屋台や曳き物、仮装行列で表現した。趣向を凝らした出し物は今も昔も祭りを楽しむ人々の注目の的だ。



勇ましい一隊が行進 相馬野馬追騎馬武者5騎

神田明神の御祭神・平将門公の意を継ぐ、「相馬野馬追」の騎馬武者行列が福島県南相馬市から特別参加。騎馬武者たちが都心を練り歩き、勇壮な姿を披露する。